

## I - 2 図書館のあゆみ 昭和55年(1980)－平成11年(1999)

昭和55年(1980)5月、新高幡図書館、日野図書館の2館が相次いで開館する。高幡新館は旧館(七生支所2階)からすぐ近くに延床面積1,358m<sup>2</sup>の独立館として、また日野図書館は福祉センター2階を離れ甲州街道に面した旧郵便局舎を改修して開館(1階部分)。これにより利用も大幅に増加する。

昭和57年(1982)には、小学校への春の集中団体貸出(翌年2～3月頃回収)が始まり平成8年(1996)まで続く。学校図書館の整備が進むまでの学校支援の方策として一定の役割を果たす。

昭和60年(1985)には開設20周年を迎える。関千枝子著の『図書館の誕生』をはじめ、図書や雑誌で、日野市立図書館の取り組みについて取り上げられ、高い評価を受ける。昭和55年(1980)7月に滋賀県立図書館長に就任した初代図書館長前川恒雄自身による実践記録も同時期に刊行される。前川恒雄館長を初めとする草創期の職員たちの日野市立図書館構築に向けた情熱や苦労を垣間見ることができる。

児童サービスの一環として、昭和60年(1985)5月から始められたのが小学校1年生向けの図書館ガイダンスだ。担当が2名から3名で各小学校を訪ね、読み聞かせやブックトークを行うことで図書館利用を促す。その際お薦めリストとして『おはなしかるた』を配布。平成15年(2003)から対象を3年生に、またリストを『おはなしすごろく』『おはなしめいろ』と順次改めたものの、30年を経た現在もこの事業は継続されている。

昭和62年(1987)5月には、砂川雄一館長が教育次長に転じ、第3代図書館長に斎藤隆夫分館長が就任する。高幡図書館新館、日野図書館の開館もあり職員数も39名となる。

平成2年(1990)11月には百草図書館(民間ビルに入居)が開館する。昭和55年(1980)の高幡・日野の開館以来の新館で延床面積も759m<sup>2</sup>と高幡に次ぐ。

それから5年後の平成7年(1995)10月、中央図書館のみだが火・木曜日の7時までの夜間開館が実施される。「図書館の夜間開館に関する陳情」が昭和59年(1984)3月に市議会で採択されてから11年を経て実現に至る。

平成5年(1993)には嘱託員の任用基準が制定され、土・日曜日など開館時間の拡大に対応するための非正規職員の雇用について整理される。

平成9年(1997)10月、移動図書館が駐車場11か所を廃止し1台体制になる。昭和50年度(1975)の367,027冊をピークに平成2年度(1990)以降10万冊を割り、平成9年度(1997)以降は3万冊前後に減ったが、西平山・旭が丘・南平地区など固定館から離れた地区への貸出、また保育園や学童クラブなど団体への貸出において、移動図書館の存在は欠かせない。

そのような移動図書館車が、平成10年(2008)8月、不審火のため使用不能となり、4か月間、ワゴン車による代替巡回となったことは、悲しい事実として記しておきたい。

昭和52年(1977)1月から始まった電算化計画は、昭和57年(1982)、昭和62年(1987)、平成4年(1992)、平成9年(1997)と、第2期から第5期まで5年ごとに更新が実施され、各館のオンライン化の実現やインターネットの活用による業務の改善が段階的に進む。同時に、利用者サイドにおいても、オンライン蔵書目録検索システム(OPAC)が館内から館外へと開放が進み、徐々にではあるが利便性の向上が図られる。

## 昭和55年(1980)

三沢台小学校・大坂上中学校開校／「日野市緑化月間」制定／日野台高校開校／  
駒形の渡し始まる／日野中央公園開園  
△新宿バス放火事件

3月 「日野市立図書館処務規則」一部改正、高幡図書館に分館長職を設ける(3.17)

☞新高幡図書館の開館に伴い分館長職を設けたが、他の分館については奉仕係長の下に置かれる。

5月 高幡図書館新館開館(長谷川紘都市建築研究室設計、延床面積1,358m<sup>2</sup>、火～金・日曜日：午前10時～午後5時、土曜日：午前10時～12時)(5.11)

日野図書館開館(旧日野郵便局舎、延床面積233m<sup>2</sup>、火～金・日曜日：午前10時～午後5時、土曜日：午前10時～12時)(5.18)

☞新高幡図書館と日野図書館が相次いで開館する。この2館の開館により利用は格段と増加する。特に新高幡図書館は新館建設を求める住民団体との協議の積み重ねにより実現したもので、開館日には待ちわびた市民約2,000人がどっと押し寄せ新図書館の誕生を喜んだ。



新高幡図書館



日野図書館

7月 前川恒雄初代図書館長、滋賀県立図書館長に就任(7.1)

☞滋賀県立図書館長に招聘された前川恒雄初代館長は、在任期間中の約10年間に、同県内の図書館振興に大きく貢献し、滋賀県を全国でもトップレベルに引き上げた。

10月 新高幡図書館、第1回おはなし会(第1・第3週の木曜日、3グレード編成、5歳：3時～、1・2年生：3時30分～、3年生以上：4時～)(10.23)

☞おはなし会専用として設置された「お話の部屋」でスタート。昭和57年(1982)4月からは開催日を水曜日に変更。

11月 高幡図書館新館開館記念講演会「図書館に望むこと」東京子ども図書館理事長  
松岡享子氏（七生公会堂）（11. 29）

## 昭和56年(1981)

平山中学校開校、同校で中学校給食開始／勤労者互助会がスタート  
△神戸ポートピア81／三和銀行オンライン詐取事件／福井謙一博士ノーベル化学賞受賞

- 5月 高幡図書館を考える会との懇談会（5. 24）  
6月 カセットテープ貸出開始（中央図書館で空ケースのみ配架し、貸出の際現物を渡す）（6. 17）  
8月 「児童図書分類表」作成（8. 1）



中央：斎藤分館長と砂川館長

## 昭和57年(1982)

市立婦人センター（現男女平等推進センター）開設／第2次基本構想制定  
△ホテル・ニュージャパン火災／日航機羽田沖墜落／東北・上越新幹線開通

- 1月 第2期電算化計画スタート（NEC ACOS システム 250 モデル40）（1. 4）  
△初めて漢字かな混じりのデータ表記になり、貸出・返却・検索時にCRTディスプレイに書誌情報が表示されるなど事務能力が向上する。  
3月 市議会、「図書館分室に関する請願」（神明上地区、昭和56年9月1日受付）を審議未了（3. 8）  
マイクロフィルム（新聞地方版）購入開始  
4月 「日野市立図書館地域・行政資料分類表」作成（4. 1）  
△地域・行政資料について日野独自の分類表を作成する。通称「S分類資料」。  
TBSテレビ、撮影のため来館（24日「広場」で「図書館利用法」を放映）（4. 14）  
5月 小・中学校への団体貸出（5. 24～7. 5）  
△学校支援の一環として、この年より、5月から移動図書館の巡回を1週間休んで、小学校19校、中学校1校への団体貸出を開始する。小学校には平成8年（1996）まで、低学年は各クラス100冊、中学年以上は50冊、毎年ほぼ全校へ実施される。



東光寺小



四小 昭和59年撮影

- 6月 マイクロフィルムリーダープリンター導入（6. 24）  
△主に朝日・毎日・読売新聞地方版記事の公開用に導入。同時に東京・産経新聞多摩版のマイクロフィルム化も順次進められる。

## 昭和58年(1983)

市民憲章・市歌制定／市の鳥「カワセミ」制定  
△日本海中部地震／大韓航空機墜落事件／田中角栄元首相に実刑判決

1月 雑誌バックナンバーの一部を都立立川図書館に移管

☞雑誌を集中的に収集・提供していた都立立川図書館は、市区町村立図書館から積極的に除籍雑誌を受け入れ、第一線図書館への協力支援を推し進めていた。

6月 レファレンス室、コピー機（ベンダー付き）のセルフサービス開始（6. 14）

7月 拡大読書器導入（中央図書館2階市民資料室に設置）

## 昭和59年(1984)

仲田小学校開校／多摩動物公園コアラ公開  
△三井三池鉱業所有明鉱坑内火災／グリコ・森永事件／長野県西部地震

3月 『パパールから10年—子どもの本を読む会のあゆみ』

（子どもの本を読む会のあゆみ編集委員会編）刊行  
(B5判、500部) (3. 1)

☞市民の自主サークル「子どもの本を読む会」の10年  
の足跡をまとめたもの。派遣された図書館職員  
とともに子どもの本や公共図書館についての学び  
を深めたその活動の記録。



市議会、「図書館の夜間開館に関する陳情」（昭和57年12月4日受付）を採択（3. 5）

4月 市政図書室、「新聞利用の手引き」作成

9月 サウスフィールド公共図書館と友好図書館提携

☞立教大学の客員教授として来日していたローレン・バーコブ・ミシガン州立大学教授の仲介により、米国サウスフィールド公共図書館と日野市立図書館の友好図書館提携が実現。  
主に相互に資料の交換などを行い友好を深めている。



11月 雑誌の予約受付開始（11. 1）

中央図書館児童室

## 昭和60年(1985)

南平高校開校／市民会館オープン／住民登録事務電算化／公共下水道、南多摩処理区供用開始  
△科学万博つくば'85／豊田商事事件／日航ジャンボ機墜落

3月 『おはなしかかるた』刊行 (B3判、2枚組み)

学校訪問用、児童向け図書館利用案内

「としょかんへいこう」発行（手書き、  
B6判、表紙絵『ラモーナは豆台風』）



おはなしかかるた（改定版）

5月 小学校を訪問（1校来館）して新1年生に図書館ガイダンス  
（～7月、18校、初年度）

☞小学校新1年生への図書館ガイダンスを開始。学校訪問時の配布用お薦めリストとして『おはなしかるた』を刊行。

6月 高幡図書館、第1回日本図書館協会建築賞・最優秀受賞  
(設計:長谷川紘都市建築研究室)

10月 講演会「子どもに昔話を」筑波大学教授小澤俊夫氏(20周年記念事業、市民会館小ホール)  
(10.12)

第1回大人のためのおはなし会を開催:中央(10.24)高幡  
(10.25)

☞日頃子どもたちの身近なところにいる大人を対象に、  
おはなし会の魅力を知ってもらおうとの趣旨で、平成  
8年まで全12回開催。

成人用、新図書館利用案内「くらしのなかに図書館を」発行  
(A5判8頁、表紙絵:砂川雄一館長の描いたイラスト)

11月 「図書館20年の歩み展」(～12月):中央(11.19～12.1)高幡(12.10～22)

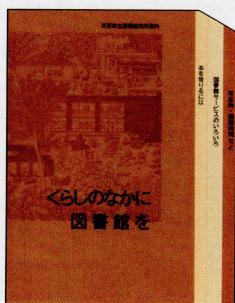
☞昭和40年(1965)に開設した日野市立図書館の20年の歩みを振り返る展示会を開催。



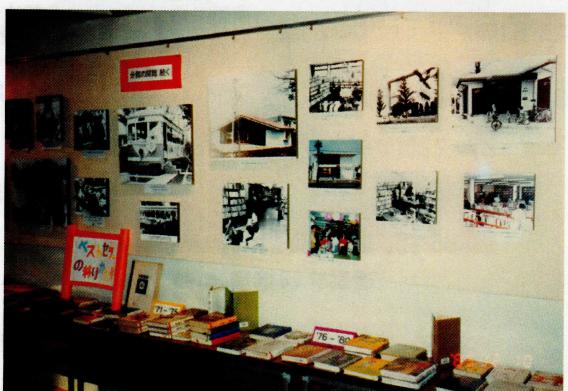
平成3年5月撮影



平成4年10月撮影



中央図書館2階ギャラリー

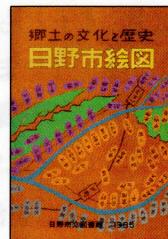


高幡図書館2階ギャラリー

イラストマップ『日野市絵図』刊行 (A1 判、5,000 部)

☞ 砂川館長自ら筆をとって完成した絵図。図書館発信の郷土の文化や歴史を紹介する案内図として好評をえる。

『日野市立図書館の 20 年 年表稿』刊行



## 昭和61年(1986)

都立科学技術大学開校／実践女子大学全面移転完了

◇男女雇用機会均等法施行／ Chernobyl 原発事故／チャールズ皇太子夫妻来日／三原山大噴火

3月 『日野市立図書館の発展計画のための調査研究 1985』

(日本図書館協会) 刊行 (A4 判)

☞ 市民の読書量や図書館の利用率、利用者の圏域などの実態を調査・研究し、サービスのあり方や施設計画等、図書館の将来構想立案の基礎データをえて、その方向性を明らかにする。



4月 『図書館の誕生—ドキュメント・日野市立図書館の

20年』(関千枝子著 日本図書館協会) 刊行

5月 『図書館は訴える—市民と読書』(鈴木喜久一・

砂川雄一共著 岩波書店 岩波ブックレット)  
刊行



高幡図書館、コピーサービス開始 (5. 15)

8月 IFLA 図書館見学ツアーワークショップ 80 名、中央・高幡図書館に来館 (8. 28)

☞ 東京で開催された IFLA (国際図書館連盟) の大会に参加した世界の図書館人が来館。子どもの本を読む会のメンバーとともに一行を歓迎する。



高幡図書館

## 昭和62年(1987)

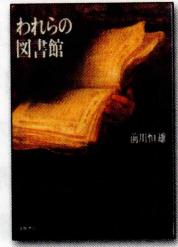
市民陸上競技場完成／在宅老人ケア事業スタート

◇国鉄分割・民営化／都立多摩図書館開館／利根川進博士ノーベル生理学・医学賞受賞

1月 第3期電算化計画スタート (NEC ACOS システム 410) (1. 5)

☞ 中央・高幡・日野図書館の3館に加え、新たに多摩平児童・社会教育センター・平山図書館及び市政図書室の4館がオンライン化される。特にマークデータの導入により、未所蔵の新刊書検索が可能となっただけでなく、注文業務も著しく省力化される。

- 2月 『子どもの本に魅せられて—やまんば読書会の記録』  
 (やまんば読書会の記録編集委員会編) 刊行 (B5判、500部) (2.1)  
 ☐市民の自主サークル「やまんば読書会」の活動の記録をまとめ  
 た1冊。当初より図書館職員が加わり子どもの本について学び  
 を深めた。
- 4月 『われらの図書館』(前川恒雄著 筑摩書房) 刊行
- 5月 砂川雄一図書館長、教育次長に就任 (5.1)  
 第3代図書館長に斎藤隆夫分館長就任 (~平成10年1月) (5.1)  
 都立多摩図書館の協力車が毎週火曜日の運行を開始  
 ☐都立多摩図書館が開館し、第一線図書館である市町村立図書館  
 への支援として協力貸出や協力レファレンスサービスなどの強  
 化が図られる。
- 6月 市議会、「旭が丘図書館誘致に関する請願」(昭和62年6月3日受付)  
 を採択 (6.27)
- 7月 中央・高幡・日野図書館、土曜日開館時間延長 (午前10時~午後5時、嘱託員雇用) (7.4)  
 職員の勤務を4週6休制試行開始 (7.19)



## 昭和63年(1988)

日野市基本計画策定／生活・保健センターオープン  
 ◇青函トンネル開業／瀬戸大橋開通／海上自衛隊潜水艦なだしお事故／  
 岩波書店など児童書『ちびくろサンボ』を絶版決定

- 1月 資料配布コーナーの取り扱い指針を決定
- 3月 中央館の地下に集密書庫を設置  
 ☐懸案だった保存スペースを確保するため中央図書館地下に集密書庫を設置する。  
 収納冊数が約9万冊から14万冊に増加。
- 講演会「子どもの成長と絵本」福音館書店会長 松居直氏 (勤労・青年会館) (3.5)
- 4月 児童用、新図書館利用案内「ようこそとしょかんへ」発行  
 (B7版、表紙絵『ラモーナは豆台風』<ベバリイ・クリアリー作  
 ルイス・ダーリング絵 学習研究社>より)  
 『移動図書館ひまわり号』(前川恒雄著 筑摩書房) 刊行
- 5月 第4代図書館協議会委員長に丸山茂彦氏就任 (~平成6年4月) (5.23)
- 6月 市議会、「落川・百草地域に図書館設立を求める請願」  
 (昭和61年6月10日受付) を採択 (6.25)
- 9月 障害者サービス用パソコンシステムとして第1期パソコン点証  
 システムを導入  
 ☐情報機器の活用は視覚障害者サービスにとっても大きな力と  
 なる。
- 10月 NHK総合テレビ、全国図書館大会開催のニュースに関連してひまわり号を撮影のため来館  
 (27日「モーニングワイド」で放映) (10.25)



## 平成元年(1989)

立日橋開通／南平丘陵公園オープン／東部会館開設／ふるさと博物館開館  
◇昭和天皇崩御／消費税3%スタート／リクルート事件／ベルリンの壁崩壊

- 2月 第1回多摩郷土誌フェア（立川駅ビルウィルギャラリー、東京都市社会教育課長会文化財部会主催、以後毎年開催、平成25年の第25回まではオリオン書房協賛）(2.3～5)
- 3月 J-BISC（国立国会図書館）導入  
☞冊子体の目録からデジタルディスク版（有料）となり検索が簡便となる。  
講演会「わたしの生き方一本と絵として教育」画家、高崎芸術短期大学教授 松本キミ子氏（中央公民館・図書館共催、中央公民館）(3.23)
- 5月 『おはなしかるた』改訂版作成（『ちびくろ・さんぽ』に代えて『からすのカーさんへびたいじ』を採用）  
☞差別問題が社会問題となり、特に『ちびくろ・さんぽ』の扱いについて市民からの意見も参考に館内で検討を図った結果、図書館ではそのまま書架に残すことになった。但し、子どもへの推薦図書をまとめた『おはなしかるた』への掲載は中止する。  
「移動図書館作業標準」（事業所安全衛生委員会図書館専門委員会）作成
- 6月 サウスフィールド公共図書館 Bern Kove Ethan 氏、友好親善のため来館 (6.22)
- 8月 砂川雄一教育次長（前図書館長）、助役に就任（～平成5年）(8.14)
- 9月 METLICS（東京都立図書館）使用試行（翌年6月から正式導入）  
☞国立国会図書館に続き都立図書館の所蔵資料についてもCD-ROM（無料）による検索が可能となり、協力貸出処理が簡便になる。

## 平成2年(1990)

多摩川の河床からゾウのキバの化石が発見される／特養老人ホーム・浅川苑開園／  
中学校給食完全実施  
◇国際花と緑の博覧会／冷戦終結

- 3月 『有山崧（個人別図書館論選集）』（前川恒雄編 日本図書館協会）  
刊行
- 6月 情報検索システム導入（METLICS他、中央・市政図書室）(6.1)  
☞業務用にデータベースを導入する。
- 10月 中央図書館地下のアスベスト撤去工事（10.1～10）
- 11月 貸出フロア全面禁煙実施（中央・高幡・日野・平山図書館）(11.1)  
『ちびくろ・さんぽ』を考える館内討議(11.6)  
百草図書館開館（延床面積759m<sup>2</sup>、火～土曜日：午後1時～5時）(11.14)  
☞京王線百草園駅すぐ隣の民間ビルの2階、延床面積は中央・高幡図書館に次ぐ。



## 平成3年(1991)

立日橋全面開通／万願寺歩道橋（ふれあい橋）開通  
△湾岸戦争／雲仙・普賢岳で火碎流／バブル経済破綻／欧州連合（EU）創設

4月 委託搬送業務開始（月～水・金曜日）（4. 1）

☞職員が行っていた搬送業務を、職員対応の土曜日を除く月曜から水曜日及び日曜日を民間業者に委託。当時は週4回だったが現在では毎日運行されている。

5月 障害者サービス、カセットテープ高速ダビング機導入

6月 成人書の見計らい図書制度の導入（6. 11）

☞ベストセラー本を含む新刊図書の確保が難しいため、書店などと同様に見計らい図書制度を取り入れる。

8月 ビデオ貸出開始（閉架式）（8. 1）

☞広報用として各機関・団体等から送られてくるビデオなどが中心で、いわゆる劇映画の収集・提供には及んでいない。

10月 講演会「わたしと動物と動物絵本」動物画家 薮内正幸氏（中央公民館・図書館共催、中央公民館、手話通訳有り）（10. 18）

11月 障害者サービス、所蔵用録音図書に限定し、「録音図書作成マニュアル」に準じて作成開始

12月 都立図書館とのパソコン通信による協力貸出申込み開始（12. 3）

市議会、「たんぽぽ学童クラブの移転及び児童館と図書館の建設に関する請願」

（平成3年9月9日受付）を採択（12. 20）

市議会、「平山駅前公共施設建設計画の見直しを求める陳情」（平成3年6月17日受付）を採択（12. 20）

## 平成4年(1992)

浅川スポーツ広場完成／精神薄弱者の生活寮「グループホームこばと寮」開設／日野駅西駐輪場開設  
△PKO協力法成立／天皇皇后両陛下中国初訪問／東京佐川急便事件

1月 第4期電算化計画スタート（NEC ACOS システム 3300）

2月 テレビ朝日、ひまわり号を撮影のため来館（三沢台学童クラブ）  
(2. 17)

3月 『ひのふるさと歳時記』刊行（A4判、6,000部）

☞図書館からの情報発信の一つとして地域資料の刊行に取り組む。

4月 社会科副読本3年『わたしたちの日野』改訂に伴い、図書館が教材に採り上げられ、各館への施設見学来館増える

6月 市議会、「神明・大坂上地区に児童館（七小学校学童クラブを含む）と図書館を設置することに関する請願」  
(平成4年3月9日受付)を採択（6. 25）

9月 百草図書館、開館時間変更（火～日曜日：10時～5時）  
(9. 1)



『わたしたちの日野』

- 10月 講演会「妖精とその仲間たち」明星大学教授  
井村君江氏（勤労・青年会館）（10. 9）  
市政図書室、『資料の広場』再刊
- 12月 「日野市立図書館障害者サービス実施要綱」  
及び「日野市立図書館パソコン点訳システム利用要綱」制定（12. 1）



平成 12 年撮影



施設見学：中央図書館



## 平成5年(1993)

**市立ハケ岳高原「大成荘」改築オープン／日野市防災情報センター開設  
△天皇皇后両陛下沖縄訪問／皇太子ご成婚／北海道南西沖地震／細川護熙連立内閣発足**

- 5月 音訳者初級講習会（講師：田中共子氏、全10回）（5. 10～7. 12）  
☞音訳者の育成のため、日本点字図書館などで活躍中の田中共子氏を迎える、全10回の音訳講習会を開催。
- 7月 田代守主査、近江八幡市立図書館長に就任（7. 1）  
搬送便、日曜日を除く週6日運行に変更（7. 1）  
レファレンス室キャarel利用を時間制に変更（7. 20）
- 8月 中央・高幡・百草図書館にて利用者用蔵書検索端末を設置  
☞図書館所蔵の資料情報へのアクセスが飛躍的に向上する。
- 9月 市議会、「複合的文化施設計画の早期具体化に関する陳情」（平成4年12月8日受付、平山地区）を採択（9. 30）
- 10月 CD（クラシック音楽）貸出開始（10. 1）  
☞カセットテープに代わりCDが主流になりつつあり、図書館でもCDの貸出が始まる。  
財務会計電算化を開始（10. 4）  
☞日野市の財務会計事務においても電算化が図られ、中央図書館庶務整理係に1台端末が設置される。
- 11月 「日野市立図書館嘱託員の任用基準」制定（11. 1）  
☞土・日曜日のカウンター業務など補助的業務に従事する嘱託員の任用に関し「日野市立図書館嘱託員の任用基準」を制定する。
- 12月 「日野市立図書館障害者サービス実施要綱」制定（12. 1）



音訳者初級講習会



利用者用端末

## 「日野市立図書館パソコン点証システム利用要綱」制定（12. 1）

### 平成6年（1994）

日野市市民参加の推進に関する要綱制定施行／栄町高齢者在宅サービスセンター開設／  
日野市・多摩市・稲城市を管轄する日野税務署新設  
△松本サリン事件／村山富市連立内閣発足／製造物責任法公布

4月 「日野市立図書館コピーサービス実施要綱」改正（4. 1）

☞コピー料金を1枚20円から10円に変更する。

5月 砂川雄一前助役（第2代図書館長）、市長の図書館政策担当顧問として非常勤嘱託員に  
(～平成9年3月) (5. 2)

第1回子どもの本まつりに職員派遣（子どもの本の出会いの会主催、生活・保健センター）  
(5. 14)

第5代図書館協議会委員長に中山隆右氏就任（～平成10年4月）(5. 26)

月1回の新聞折込広告回収を中央・高幡・日野・百草図書館のみの回収に変更  
(社会教育センター・平山図書館は中止)

7月 斎藤隆夫館長と小川幸子主査、大手出版社7社を訪問し新刊書確保のための十分な配慮を要請 (7. 19)

10月 CD（ポピュラー音楽）貸出開始 (10. 1)

### 平成7年（1995）

日野市第3次基本構想策定／国土庁により日野市が「水の郷」に選ばれる  
△阪神淡路大震災／地下鉄サリン事件／村山富市首相の戦後50年談話

2月 中央図書館、集会室定期利用団体の抽選会（初年度）(2. 17)

4月 高幡・日野図書館、業務用に情報検索システム（METLICSなど）導入

6月 『東京都多摩地区の空襲・戦災の記録－日野市立図書館所蔵リスト－』  
(戦後50年記念平和事業) 発行

8月 TBSテレビ、自習室の問題を取り材撮影のため来館 (29日「フレッシュ」でレンズ室入口の注意書きのみを放映) (8. 27)

10月 中央図書館、開館時間延長（火・木曜日を午後7時まで）(10. 12)

11月 『日野市立図書館の現状と当面する諸問題について』（市長の図書館政策顧問 砂川雄一著）  
刊行

☞昭和40年（1965）の開設から30年を経た日野市立図書館の現状について分析し、現在抱えている諸々の問題を解決するにはどうすべきか、これから進むべき方向性を提示する。

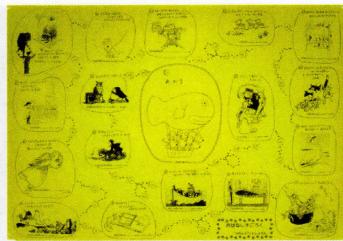
### 平成8年（1996）

日野市行財政改革大綱策定／ひの男女平等社会推進プラン策定／日野市普通河川等管理条例施行  
△O-157流行／住専問題／ペルー日本大使公邸人質事件

4月 障害者サービス担当、NHKラジオ第2「視覚障害者の皆さんへ－公共図書館で働く視覚障害者の現状と課題」に出演 (4. 7)

12月 移動図書館巡回方法の変更（巡回する井草図書室と巡回路線の変更）(12. 26)  
市内書店への直接発注実施 (12. 26) 宝塚・聯業試験によるセミナー開催

- 5月 『おはなしすごろく』発行 (A1判) (5. 6)  
 ☐学校訪問用に持参するお薦めリストを『おはなしかるた』に代わり『おはなしすごろく』に変更。
- 7月 斎藤隆夫図書館長、新日比谷図書館基本構想検討委員会  
 委員を委嘱される (~翌年3月) (7. 1 ~ 1997. 3. 31)  
 「日野市立図書館リサイクル事業実施要綱」制定 (7. 15)
- 8月 リサイクル事業実施 (毎月第4週の土曜日、中央図書館)  
 (8. 24)
- 9月 中央図書館大規模改修工事 (開架室照明器具、男子トイレ  
 改修、カウンター表面塗装、樹木伐採) のため休館  
 (~11月) (9. 30 ~ 11. 4)



リサイクル図書の配布

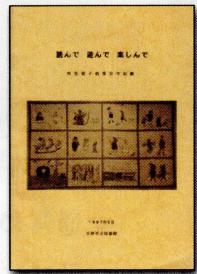
## 平成9年(1997)

鳥と緑の国際センター開設／休日歯科応急診療所開設  
 ◇消費税5%スタート／アイヌ文化振興法成立／神戸小学生殺害事件／香港返還／  
 山一証券・北海道拓殖銀行破綻／介護保険法成立／京都議定書採択

- 2月 『日野市「主要な施策の成果」に記載された図書館関係記事 (1965 ~ 1995)』(市長の図書館  
 政策顧問 砂川雄一作成) 刊行 (2. 24)
- 5月 『日野市議会会議録の抜粋 図書館問題討議記録 昭和39年度第4回定例会・昭和40年度  
 第1回定例会』(市長の図書館政策顧問 砂川雄一作成) 刊行 (2. 28)
- 3月 『日野市立図書館運営経費の決算額調べ 1965 ~ 1995』  
 (市長の図書館政策顧問 砂川雄一作成) 刊行 (3. 1)
- 4月 第5期電算化計画スタート (丸善 CALIS)  
 ☐通信回線に ISDN 使用、中央・高幡・百草図書館に加え  
 て、多摩平児童・日野・社会教育センター・平山の各図  
 書館と市政図書室に利用者用蔵書検索端末を設置。日  
 本 MARC の通信回線による受信が可能になる。
- 9月 多摩平児童・社会教育センター・平山図書館担当者による  
 中央図書館における資料の合同予備選択会議を廃止 (4. 15)
- 10月 第5代日野市長に馬場弘融就任 (~平成25年4月) (4. 27)
- 5月 『読んで 遊んで 楽しんでー明星親子読書会の記録』刊行  
 (A4判、500部)  
 ☐明星団地内にあった明星親子読書会の17年間の活動記録。この  
 親子読書会には当初から職員を派遣し、年末のおたのしみ会に  
 は職員が家族連れて参加することもあった。
- 12月 TBSテレビ、ひまわり号を取材撮影のため来館 (31日「王様のブランチ」で放映) (5. 21)
- 6月 『日野いまむかし—郷土資料案内』発行 (業務用、A4判、70部)  
 (6. 5)



おたのしみ会 (高幡図書館)

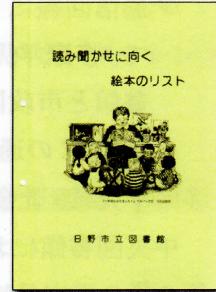


- 小学校へリサイクル図書の配布開始（20校、初年度）（6.9～13）
- ☞前年度をもって移動図書館車による学校への団体貸出は廃止される。
- 7月 神戸市須磨区少年殺人事件に関する『週刊新潮』の記事について、取扱いが問題となり、少年法に抵触するおそれがあるとの判断から閲覧制限措置をとる（7.4）
- 9月 常設リサイクル・コーナーの設置（市政・百草台児童図書館を除く）（9.2）
- 10月 移動図書館、巡回日程表大幅変更（駐車場11か所廃止、1か所再開）、移動図書館車1台体制開始（10.7）
- ☞路上での貸出は道路交通法上望ましくないとの判断から駐車場を整理し35カ所に、移動図書館車も1台となる。
- おはなし会開催方法の変更（10.22）
- ☞中央図書館おはなし会を月1回にして、その分を多摩平・百草図書館で1か月おきに開催（就学前・後の2グレード編成、8月第5週に多摩平児童図書館で試験的におはなし会を開催）（10.22）
- 11月 高幡図書館に加え、多摩平児童及び百草台児童図書館を除く他の分館にも分館長職を置くNHK総合テレビ、「週刊こどもニュース－特集とよかん」でひまわり号の貸出風景（明星団地中央）を放映（11.2）

## 平成10年（1998）

個人情報保護条例施行／福祉支援センター開設／男女共同参画都市宣言  
△長野冬季オリンピック大会／NPO法成立／サッカーW杯日本初出場

- 1月 中山玲子、デジタル音声情報システム促進委員会委員を委嘱される（～翌年3月31日）（1.20）
- 2月 第4代図書館長に小川幸子副館長就任（～平成16年3月）（2.2）
- 3月 5年を経過した利用者カードの更新開始（移動・百草台児童図書館を除く）（3.3）
- 6月 第6代図書館協議会委員長に有泉徹郎氏就任  
（～平成16年4月）（6.4）
- 中央図書館集会室を障害者サービス室へ改修及び新集会室設置工事（6.8～19）
- 高幡図書館、モノレール工事関連で、風除室撤去など  
玄関付近の改修工事（6.22～7.10）
- 8月 『読み聞かせに向く絵本のリスト』発行（業務用、A4判）（8.3）  
☞通常の巡回ができず、新車完成までの4か月間、ワゴン車を使ってリクエスト本の引き渡しを中心巡回する。
- 11月 NHKラジオ第2「視覚障害者の皆さんへ」で障害者サービスにおけるパソコン操作補助サービスを紹介（11.8）
- 12月 移動図書館巡回方法の変更（隔週巡回から月2回、巡回週・曜日を固定しての巡回に）（12.8）  
市内書店への直接発注実施（12.24）



ワゴン車による代替巡回

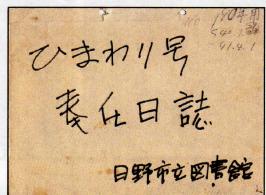
## 平成11年(1999)

第2次行財政改革大綱策定／インターネットホームページ開設／  
市民課（現在の市民窓口課）豊田駅連絡所開設／ひの市民大学開校  
△単一通貨ユーロ導入／地方分権一括法成立／国旗国歌法成立／東海会JC臨海事故

- 5月 障害者サービス、カセットテープ高速ダビング機増設 (CCP-1310F&CCP-1410F) (5. 19)
- 7月 図書のオンラインによる発注を開始 (7. 1)
- 8月 中央・高幡図書館開架室に日野市ホームページ閲覧用パソコン開設 (市長公室所管) (8. 25)
  - ☞インターネットの普及に伴い、市民の情報アクセスを保障するため、市長公室予算で中央・高幡図書館にインターネット端末が設置される。その後平成13年(2001)12月には他の分館にもすべて設置される。平成26年(2014)1月には図書館電算システムの一つに組み込まれる。
- 10月 「日野市立図書館運営規則」の一部改正 (市内通学者への貸出開始、貸出冊数制限の撤廃) (10. 1)
  - ☞開設以来利用条件は在住・在勤に限られていたが、ここで初めて通学者に対しても貸出を認めることになる。
- 森下芳則平山分館長、愛知県田原町（現田原市）図書館準備室長に就任 (10. 1)
- 東京大学大学院教育学研究科助教授根本彰氏等による市政図書室におけるレファレンスサービスのフィールド調査実施 (~11月) (10. 18~22) (11. 15~19)
- 12月 図書館設置条例の一部改正 (12. 14)
  - ☞「ひの社会教育センター内に図書館を存続することを求める請願」(平成11年3月9日受付)が提出されたなか、議会での審議の結果、図書館設置条例の一部改正議案(社会教育センター図書館の名称変更)は原案どおり可決される。



初代ひまわり号のお別れ会にて 昭和46年(1971)9月4日



奉仕日誌表紙 昭和40年(1965)9月21日から



児童奉仕員バッジ



児童奉仕員任命書 昭和43年(1968)5月